皆さんは、日本の森林について考えたことがありますか。周りは、どうでしょうか。
健全な森林と感じますか。我々には、外からは見えない、整備が遅れ荒廃した森林の姿がはっきりと見えます。
手遅れになる前に、森林を守ることを考えてみませんか。
「まちのきこり人育成講座」は、現在の森林について考え、そして整備技術を習得する講座です。

まちのきこり人育成講座　　定員 16 名（先着順。65 歳までの方）

＊講座のねらい＊　フィールドを知り、森での作法を身に付け、森づくりの基礎を学び、森人の環を作る

導入編 3/17(日)	**「森林の風」のフィールドへようこそ！** 森林への思い！／里山を歩き、これからの森づくりについて考える。（参加自由）	水源の森プログラムの紹介	参加費 1,000 円(税込)
第1回 4/7(日)	**きこり体験。** のこぎりを使って木を伐る。木の伐り方、倒し方、枝打ちなど	ノコギリを使った伐木、枝打ち体験	参加費（全 7 回） 14,000 円（税込）
第2回 4/14(日)	**森を測る。** 森づくりの第 1 歩。コンパス測量、標準地調査と選木、森のデータ化	測量・標準地調査	
第3回 4/21(日)	**チェンソーに触れる。** チェンソーの取扱い、メンテナンス、安全・危険を学び、実際に伐ってみる	チェンソーの取扱い・目立て	
第4回 5/12(日)	**チェンソーで伐る。①** 水平切り・受け口・追い口を徹底的に練習していただきます。	チェンソーによる伐木の練習	（外部講師予定）
第5回 5/19(日)	**チェンソーで伐る。②** 実際の立木を伐倒、玉切り、枝払い、特訓（チェンソーワークの体得）。	チェンソーによる立木の伐倒	
第6回 5/26(日)	**チェンソーで伐る。③** 伐倒・掛木処理等、道具の説明。搬出デモ。	道具を使った伐倒・搬出	（外部講師予定）
第7回 6/9(日)	**安全・衛生講習** 森林整備での健康管理、危険な植動物の学習。救命救急講習等を行います。	安全講習・救命講習	（外部講師予定）

※ チェンソー講習修了証を発行します。

林業を目指す、森林整備を始めたい、森づくりを一から学びたい、成人の方のための講座です。
集合場所：「**まなびの森**（三重郡菰野町千草字東江野 7045-82）」
時　　間：　**9：00～15：00** です。

森林施業 認定NPO法人 森林の風

2024 年度「まちのきこり人育成講座」参加申込書

ふりがな		性　別	男　・　女
住　所	〒　　－		
ふりがな		年　齢	裁
名　前			
生年月日	年　　月　　日	血液型	型
連絡先	自宅電話番号　　－　　－		
	本人携帯番号　　－　　－		
メール	@		

よろしければ参加希望の理由、森林に親しんだ経験をお知らせください（活動団体があればご記入ください）

免責同意書

1. 私はこの活動に危険の要素があることを認識しています。
2. 私は自身の安全や所持品の損傷については全て自己責任とします。
3. 私は、この活動に参加したことにより生じた一切のけがや障害について森林の風及びリーダー、スタッフの責任を問いません。

2024 年　　月　　日

氏名　　印

- お申し込みは本用紙に記入捺印の上ご郵送ください。
- 同内容でメールにてお申込みいただく場合も、初回には申込書にご記入捺印願います。
- 参加費のお支払は申込締め切り日までに銀行振込でお願いいたします。

  振込先　：　三十三銀行　川島支店　普通預金　２１６９４８０　特定非営利活動法人森林の風
- 本申込みで得る個人情報は森林の風の連絡及び保険加入以外利用いたしません。
- この事業は、公益財団法人イオン環境財団様、一般財団法人セブンイレブン記念財団様の助成により行っております。

お申込み／問い合わせは
ホームページをご覧下さい。

ホームページ　　申し込み

森林施業　認定ＮＰＯ法人 森林の風
〒512-0933　四日市市三滝台 4-15-7
Tel　059-321-7719（10 時～17 時）
ホームページ　http://www.morinokaze.info

担当：上林　光伸　　携帯：090-6590-0011
Mail：uebayasi@dd.iij4u.or.jp

講座内容のご紹介

導入編「森林の風」のフィールドへようこそ！

「森林への思い！／里山を歩き、これからの森づくりについて考える。」と題して、認定 NPO 法人森林の風の森林環境整備への思い、理念等をお話しし、その後、実際の森林を散策しながら森林環境のこと、個々の樹木のことあるいは、そこに住む昆虫、動物とのことについて実際に観察します。また、森林浴体験をとおして、人と森林とのかかわりについて感じてそして、考えていただきます。

森林散策

森林休息体験

第１回　きこり体験

ここからは、きこり人なるための知識・技術の習得になります。
第１回は、森林保全整備の基本的な考え方、活動における注意事項等をお話しし、枝打ち、ロープワークと、のこぎり間伐を実習します。枝打ちでは、写真のように安全帯を付け梯子にのぼって高いところの枝を落としていただきます。

枝打ち

ノコギリ間伐

第２回　森を測る

第２回は、人工林施業の基本となる数値目標を策定するために必要な林地測量と統計的に森林の状態を計測する標準地調査の実習を行います。そして、そこで得られたデータをもとに今後の間伐等の計画についてもシミュレーションを行います。これは、森林整備計画を立てる上で、必須の実習となります。

コンパス測量

樹高測定

第３回　チェンソーに触れる

第３回は、チェンソーの取り扱いについて実習します。チェンソーは、安易に使用するととても危険な道具なので、チェンソーの構造そして、安全な使い方についてしっかり実習をします。また、メンテナンスについても同時に実習します。メンテナンスにおけるソーチェーンの目立ては、チェンソー作業において大変重要なものの一つになります。じっくり時間をかけて習得して頂きます。

メンテナンス

試し切り

第４回　チェンソーで伐る-1

ここからは、実際に立木を伐倒するための技術を習得します。
第４回は、立木を伐倒するための手順について模擬木を使って何回も練習をしていただき、本番の伐倒に備えます。
この回は、実際に林業に携わっている専門家（外部講師）にお願いして正しい知識と技術を身につけていただきます。

受口特訓１

受口特訓２

第５回　チェンソーで伐る-2

第５回は、実施に森林に入り、立木の伐倒を行います。前回で学んだ受け口、追い口を実際の立木にて体験します。一般的には、人工林の間伐実習となりますので、倒した木は、枝払い、玉切りを行い、山林の斜面に並べ整理するところまで行っていただきます。また、実際の林内では、周囲の枝に伐倒木がかかる、掛り木になることがあります。その対処方法についても実習します。

チェンソー間伐

玉切り

第６回　チェンソーで伐る-3

第６回は、前回の続きとなります。ただし今回は、牽引具という特殊な道具を使った伐倒となります。牽引具とは、重心の偏った木などを倒したい方向へ導くための道具となります。また、前回で経験した掛り木における対応手段として用いることがあります。このような、状況を想定した伐倒を体験していただきます。この回も外部講師となります。
第６回で、技術的な実習は終了となります。

道具の説明

受講風景

第７回　安全・衛生講習

第７回は、森林における危険な動植物およびその対処方法。熱中症に対する対応、応急手当、AED による救命処置、救急救命における胸骨圧迫等の実習をします。この講座は、林業以外にも海、山におけるリクリエーション、若しくは日常の社会生活においても役に立つ情報が多数、盛り込まれています。この回は、実際に救急医療に携わっている、大学病院の看護師さんに依頼して講義を行っております。

三角巾による固定

救急救命講習

受講生の声

私は、趣味で山に登るたびに鬱蒼とした森林を目にし、その保全に興味を持ちました。ただ趣味的に山に訪れるだけでなく、一歩踏み込んで関わりたいと考え調べる中で「森林の風」の活動を知りました。「まちの木こり人育成講座」は専門的な技術を教えていただける貴重な機会と考え、受講しました。

育成講座のメインの学びは伐倒です。伐倒技術の基礎に加えて、チェンソーの整備方法、後処理方法まで、伐倒に必要な知識を座学と実習で教えていただきました。伐倒は、切り口の少しの狂いで木の倒れる方向が大きく変わる繊細な作業です。最初はチェンソーのエンジンをかけることにさえ手間取り、思ったように木が倒せず、悔しい思いをしました。 講義の中で、森林の風の方から指導を頂いたり、外部講師の方の体の動きを真似したりする中で、徐々にコツを掴み狙った方向へ木を倒せるようになりました。最初は鬱蒼としていた森が、自分の行為を通して少しずつ明るくなっていくことを感じ、自分たちの行動が森を良くすることにつながっていることを実感しました。今後はここで身に付けたことをさらにレベルアップさせながら、森林に関わる活動を続けていきたいと考えています。

2022 年度　修了生　　N. S さん